

きずなの郷

第51号

2016 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成28年8月12日

目次

誕生祝い品贈呈事業… 1
平成27年度法人本部 及び各施設・事業所 の事業報告…………… 2
平成27年度決算報告… 4
平成28年度 新職員紹介…………… 5
合同企画 花見…………… 5
わかふじ寮…………… 6
屈足わかふじ園…………… 6
新得やすらぎ荘…………… 7
地域新得やすらぎ荘… 7
やすらぎ荘…………… 8
ひまわり荘…………… 8
合同記事 法人スポーツ大会 高齢者芸能芸術祭 各施設の行事予定… 9
寄付・寄贈・授産広告 ホームページ 編集後記…………… 10

はじめましての木のおくりもの

誕生祝い品贈呈事業スタート

わかふじ寮 木育推進委員会委員長 高木 純

今年度からわかふじ寮の地域貢献活動の一環として、新得町で出生した新生児に、誕生祝い品としてわかふじ寮で制作をした「木のおくりもの」を贈呈する事業をスタートしました。本事業は、わかふじ寮の業務改善を目的とした活動の中で、社会福祉法人としてわかふじ寮ができる地域貢献の内容を充実する為の取り組みとして、職員から提案されました。当初計画をしていた平成27年度中の事業化は実現できませんでした。が、地域貢献充実を目的としてわかふじ寮が本事業予算を負担することの承認を受け、今年度事業化する運びとなりました。事業化するに当たりわかふじ寮に木育推進委員会を設置し、新得町の全面的な協力を頂きながら6月より事業を開始しています。

本事業は、子供たちやその両親に木のぬくもりや美しさを感じてもらい、木の魅力を再発見してもらう「木育」を推進して、まちの林業と子育て支援の両面を振興することを目的としています。

「木育」とは北海道で生まれた新しい言葉です。子供をはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みであり、子供の頃から木を身近に使うことを通じて、人と、木や森の関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動として、北海道から発信され全国的に推進されています。新得町は総面積の約90%が森林地帯であり、林業と共に町が発展してきた経緯があります。わかふじ寮は林業の町、新得町で家具・建具を製造する授産施設として設立しました。これまでに培ったわかふじ寮の技術と経験を生かした木製品を新生児に誕生祝い品として贈呈することで、新得町における「木育」を推進し、少子高齢化が進んでいる新得町が活性化することを目指しています。

「誕生祝い品贈呈事業」は平成28年4月1日以降に新得町で出生した新生児を対象としています。贈呈品は「きこりのつみき」、「木のうつわセット」、



▲左から「音のおもちゃセット」、上段「ファーストチェア」、下段「きこりのつみき」、右「木のうつわセット」

「ファーストチェア」、「音のおもちゃセット」の4つの中から選ぶことができ、新生児の誕生日と名前を刻印して4ヶ月健診時に贈呈します。8月に最初の贈呈を行う予定ですが、制作に携わった利用者から直接ご家族へ渡していただく予定です。「木のおくりもの」を通じて町民と利用者が交流すること、聴覚障害者への理解が深まることともに、利用者自身の励みに繋がることを期待しています。

今後は、町内の小中高生や町民を対象とした木工教室を開いたり、木のおもちゃで遊べるイベントの企画等を通して木育を推進する取り組みを行う予定です。さらに今年度、新得町に新しく開校した新得高等支援学校の生徒さんとも木育事業において連携をしていくことを視野に入れて活動を進めていきます。

平成27年度 法人本部及び各施設・事業所の事業報告

■法人本部

社会福祉法等の一部を改正する法案が可決され、この事により①経営組織のガバナンスの強化、②事業運営の透明性の向上、③財務規律の強化、④地域における公益的な取り組みを実施する責務、⑤行政の関与の在り方、⑥社会福祉施設職員等退職手当共済制度の見直し、が示された。

当法人としても社会福祉法人の使命を自覚し、平成27年度は各施設・事業所利用者サービスの向上と運営の安定を図りながら、以下の事業を実施した。

1. 地域密着型特別養護老人の建設工事及び関連付帯工事の完了。
2. 職員住宅の建設及び関連工事の完了。
3. 新得町手話条例制定に伴う協力。
4. 地域貢献と社会貢献活動の推進。
5. 理事会の開催(5回)、建設委員会の開催(4回)、監事の監査(4回)、評議員会の開催(5回)、役員研修(3回)、顧問契約(松浦弁護士、富士道公認会計士)、本部各専門部会(管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会)

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、モニタリングを定期的実施し、利用者の状況から支援内容の見直しや確認を行いながら実施した。

利用者の高齢化や障害の重度化により、日常生活における支援内容が多様化する事となり各部門間で対策を検討、情報を共有化し対応を行った。

健康面については、ウォーキング等の機会を設け、健康の増進、運動不足の解消を図ると共に歯磨き支援などの保健衛生面についても取り組みを行った。

①生活支援部門

- ・個別支援計画にそって支援を実施し、利用者の状況の変化等に合わせて支援内容の変更を行った。

②就労移行部門

- ・就労支援ネットワーク会議等に参加し、情報収集を行った。
- ・チェックリスト(基礎評価)に基づき出退勤、作業態度等の基礎的な訓練支援を個別支援計画に沿って行った。
- ・地域生活を送る上でのルール、福祉サービスの利用援助、地域生活に対する相談等の支援を行った。

③授産事業部門

- ・売上確保や利益向上を目標に事業振興に取り組んだ結果、売上目標を達成する事が出来た。また、職員・利用者高齢化に伴う事業の見直しに対する取り組みは出来なかった。

■わかふじ寮相談支援事業所

利用者が地域で自立した生活を送ることができる様に、訪問した際に意向や要望の聞き取りを行い、ご本人の意向を基本としながら必要と思われる内容については助言を行った。又サービス等利用計画案の作成においては、利用者の状況や事業所での支援状況を基に状況に合わせて見直しを行った。

■共同生活援助事業所さくら

利用者への支援については、個別支援計画に基づき地域生活が安定してできる様に、地域で生活を送る上でのルールを基本とし、身の周りの事など自立した生活を目指した支援を行った。食生活については家庭的で且つ偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好について日々の献立に反映できる様に対応した。

■厚生協会新得白生舎

社会福祉法による授産施設として、利用者の心身の能力に応じ、作業を分担し業務に取り組んだ。怪我・事故の無いよう配慮し、利用者の福利厚生に努めた。また、事業については新得白生舎クリーニング事業経営改善計画の2年目として、更なる顧客満足度の向上に取り組み、事業収入の増に向けた取り組みとして営業を強化し、新規事業を展開・事業収入の増収に結びつけた。

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

施設は、老人福祉法及び関係法令及び通知に基づき、利用者の自立支援の為にソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいをもち健全で安らかな生活ができるように支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

介護報酬の改定に合わせ、特定施設入居者生活介護のあり方として現在の外部サービス利用型から一般型への変更も検討すると共に、各関係機関・事業所等との連携を図り、より効率的なサービス提供を行った。新得町の手話条例施行に伴い、手話の普及と共に道内唯一の聴覚障害者養護老人ホームとしてその役割を強化し、道内外にアピールした。また、聴覚障害者に必要な認知症のケア等のまとめを行い地域貢献に向けた作業を更に充実させるよう努めた。

10月1日から一般型へ移行する予定で打ち合わせを進めた。また、施設の特性をまとめたパンフレットを道内及び関東圏の地域包括支援センターへ郵送し、アピールに努めた。

①生活支援部門

- ・支援員日誌と夜勤日誌を整備し、また個々の生活の記録等に適宜記録し、取り組んだ。書き方についても第3者が読んで誤解のない内容であるように留意した。

②医療部門

- ・利用者の健康診断は胃がん検診を含め、定期的に行った。
- ・常に利用者の全身状態を把握し、異常時は担当医へ報告し、医療機関を受診した。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

介護報酬の見直しによるマイナス改定の影響を受け、節電等の経費削減に取り組んだが十分ではなかった。また、新施設の開設のため準備委員会を立ち上げ担当分けを行い開設準備に取り組んだ。

利用者の重度化対応に向けて口腔ケア、おむつ外し、認知症ケア等については、継続して取り組んだが、業務の改善等も考慮し課題が残った。介護職員の基礎介護力向上については、継続して介護力向上講習会を受講し自立支援の取り組みを図った。短期入所については、自宅生活支援に向けて、緊急入所の受け入れを実施し努めてきた。

①モニタリングを実施し、ケアプランにサービスの提供に努めた。

②週1回の歯科医往診と月に複数回歯科医、歯科衛生士による口腔ケア指導を受け、利用者の口腔機能の維持に努めた。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

①訪問介護サービス

利用者の望む在宅生活が出来るようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となる様努力してきた。また、自立支援・介護予防の視点に立ち、日々の介護サービスを行う事が出来た。今年度は特に利用者本位の視点を重視し認知症の方の対応研修にも参加し各ヘルパーのスキルアップを行った。

②障害福祉サービス

自立支援の視点に立ち、利用者本位とその意味を研修等で再度学ぶ機会を増やした。在宅における障害者だけではなく、その家族への気配りも行うよう努めた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

介護保険制度は平成12年の制度開始以来、在宅サービスを中心に、老後の安心を支える仕組みとして定着してきた状況にあり、居宅介護支援事業においても、利用者の有する能力を勘案し、専門的知識及び質の高いケアマネジメントを通じ、住み慣れた地域で尊厳のある生活を継続できるよう支援していくことが必要とされている。

当事業所においても、介護保険法令の趣旨に従い、利用者と家族の意向を尊重しながら、専門職として総合的なケアマネジメントを行い、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行い、各サービス提供事業所や行政、医療機関等の他職種連携を図り、適切なサービスが利用できるよう調整を行った。また、平成27年度は介護保険法の改正及び報酬改定の年度でありましたが、保険者と連携を取りながら、利用者に対する介護サービスの提供に支障が生じないように対応を行った。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、入浴および食事の提供、選択的サービスの実施や生活動作に関連する機能訓練の実施をした。

また、健康状態の確認やその他必要な日常生活の支援をし、利用者の健全で安定した自宅の生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

デイサービスでは、地域で在宅生活が継続できるよう、心身機能訓練から生活行為力向上訓練までの総合的な支援を重視し、在宅での生活状況や興味・関心のあること等把握した上で適切なりハビリテーションの提供を目的とし、理学療法士、看護職員、介護職員、生活相談員が共同して、リハビリの計画・実施・評価を行った。

また、制度改正に向け外部研修や職員勉強会に参加し、理解を深めることに努めた。

■屈足デイサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限り居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練等のサービスを提供した。また、利用者の安定した在宅支援の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

■日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぽぽ

利用者が可能な限り居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練等のサービスを行った。また、利用者の安定した生活の促進、心身機能の維持向上を図った。

■屈足わかふじ園

平成27年度は、報酬改定や公共料金の値上げなどで厳しい運営が予想されたが、職員全体のコストを意識の向上や経費削減、会議や委員会活動等の時間変更の効果もあり、影響を最小限に留めることができた。

利用者に対しては個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。又、サービス利用計画については、相談支援事業所と連携し施設で作成している個別支援計画と連動した計画となる様、情報を提供し支援を進めた。

環境整備では、10月6日に大友福祉振興財団の補助金を受けナースコール設備の更新工事を行った。又、開所より使用していた厨房食器洗浄機の劣化・故障に伴い新型洗浄機を整備した。その他、屋上のモニュメント塔が腐敗により危険な状態になったため撤去した。

①介護部門

・個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を確認を行った。

②医療部門

・常に利用者の状態把握に努め、異常が認められた際には、ただちに嘱託医に報告した。
・感染症対策委員会を中心に予防対策として、手洗い・消毒の徹底、体調不良者には居室に安静対応するなどの流行防止に努めた。

■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の主体性と自立支援に向けた社会参加、地域との交流に取り組んだ。個別支援計画書を作成し、利用者に対しサービス内容の説明を丁寧に行い、同意を得られるよう努めた。

また、抑制防止の徹底や事故防止、認知症の対応、感染症の防止等、より良い介護サービスの提供を行い、常に利用者の立場に立ったサービス支援が行えるよう努めた。

さらに、利用者、家族から「安心と信頼」を得られるよう支援の内容を常に見直し利用者が心地よく過ごせるよう住環境の清潔維持に努めた。

①介護部門

・個別支援計画を作成し、利用者個々に合わせた支援と介護サービスの提供を行った。

②看護部門

・定期的に健康チェックを実施し、利用者の状態変化を早期に発見及び適切な対応に努める。また必要に応じ健康指導を行った。
・看護経過連絡を活用し個々の状態、状況を各部署に伝達した。

■訪問介護事業所 ひまわり荘

介護保険法令及び関係法令に基づき、利用者の生活環境や能力に応じて特定施設で作成したサービス計画書を基に、訪問介護サービス計画書を作成した。介護保険制度の見直しを受け、経費削減を図りながら特定施設、サービス提供事業者と連携しサービスの質の維持・向上に努めた。

平成27年度決算報告

平成28年3月31日

財 産 目 録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		1,028,903,885
固 定 資 産		5,845,522,611
資 産 合 計		6,874,426,496
負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		264,775,717
固 定 負 債		407,139,430
負 債 合 計		671,915,147
差 引 正 味 資 産		6,202,511,349

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	1,028,903,885	流動負債	264,775,717
固定資産	5,845,522,611	固定負債	407,139,430
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	3,613,353,092
		その他の積立金	693,649,367
		次期繰越活動収支差額	1,881,008,890
資産合計	6,874,426,496	負債純資産合計	6,874,426,496

事 業 活 動 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険事業収益	455,247,888
老人福祉事業収益	261,055,062
就労支援事業収益	213,223,864
障害福祉サービス等事業収益	744,474,318
生活保護事業収益	16,616,080
その他の事業収益	9,547,080
経常経費寄附金収益	10,439,000
借入金利息補助金収益	642,998
受取利息配当金収益	288,254
その他のサービス活動外収益	12,961,833
施設整備等補助金収益	604,801,000
拠点区分間繰入金収益	773,300,184
その他の収益	38,158,000
収入合計	3,140,755,561
人件費	937,959,750
事業費	252,332,211
事務費	223,925,380
就労支援事業費用	193,608,951
利用者負担軽減額	1,392,613
減価償却費	131,366,477
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 89,938,892
徴収不能引当金繰入	1,470,000
支払利息	2,663,726
固定資産売却損・処分損	4,040,223
国庫補助金等特別積立金積立額	586,801,000
拠点区分繰入金費用	773,300,184
支出合計	3,018,921,623
当期活動増減差額	121,833,938
前期繰越活動収支差額	1,788,257,208
その他の積立金取崩額	72,420,000
その他の積立金積立額	101,502,256
次期繰越活動増減差額	1,881,008,890

資 金 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険事業収入	455,247,888
老人福祉事業収入	261,055,062
就労支援事業収入	213,223,864
障害福祉サービス等事業収入	744,474,318
生活保護事業収入	16,616,080
その他の事業収入	9,547,080
借入金利息補助金収入	642,998
経常経費寄附金収入	10,439,000
受取利息配当金収入	288,254
その他の収入	13,061,833
施設整備等補助金収入	604,801,000
積立資産取崩収入	72,420,000
収入合計	2,401,817,377
人件費支出	899,021,750
事業費支出	252,332,211
事務費支出	223,925,380
就労支援事業支出	194,987,521
利用者負担軽減額	1,392,613
支払利息支出	2,663,726
設備資金借入金元金償還支出	26,649,000
固定資産取得支出	687,630,446
ファイナンスリース債務の返済支出	523,584
積立資産支出	101,502,256
支出合計	2,390,628,487
当期資金収支差額	11,188,890
前期末支払資金残高	806,364,830
当期末支払資金残高	817,553,720

平成28年度 新職員紹介(4月1日付)



屈足わかふじ園
介護職員
吉田 幸代



屈足わかふじ園
介護職員
佐藤 次実



屈足わかふじ園
介護職員
須藤 花慧



屈足わかふじ園
介護職員
村田 裕樹



地域新得やすらぎ荘
介護職員
喜多 郁也



地域新得やすらぎ荘
介護職員
高山 順子



地域新得やすらぎ荘
介護職員
斎藤 香



地域新得やすらぎ荘
介護職員
片山 由梨



地域新得やすらぎ荘
介護職員
綿谷 友希



新得やすらぎ荘
介護職員
高橋 利奈



新得やすらぎ荘
介護職員
山田 信支



新得やすらぎ荘
介護職員
渡邊紗由美



新得やすらぎ荘
介護職員
林 あずみ



新得やすらぎ荘
介護職員
鈴木 雄大



新得やすらぎ荘
介護職員(準職員)
林 穂佳



居宅やすらぎ荘
介護支援専門員
佐々木真奈美



やすらぎ荘
支援員
藤原 由実



やすらぎ荘
支援員
小笠原淳人



やすらぎ荘
看護職員(パート)
浅井 愛



やすらぎ荘
支援員(パート)
三杉 康弘

いっちょ歌ってみるか



ひまわり荘

▲どんどん焼くよ

新得やすらぎ荘



▲やっぱりジギスカンには行者ニンニク

やすらぎ荘



▲今年の桜もキレイだわ♪



▲満開の梅が綺麗ですね

地域新得やすらぎ荘

花よりジギスカン!



▲ジギスカンとビール♪ 最高です!!

屈足わかふじ園



▲お母さん。ありがとう!



▲花見だよ。カンパイ!

わかふじ寮



▲久しぶりの家族との団らんで、食事も会話も弾んでおります

施設研修旅行

～きれいな風景やおいしい料理に大満足!!～

6月に恒例の施設研修旅行で1班目と2班目は岐阜・愛知方面へ、3班目は千歳方面へ行ってきました。

1・2班目で行った名古屋港水族館のイルカショーは、大型スクリーンが設置されていたため大迫力で見ることができ、視力が悪い利用者の方も十分に楽しむことができました。

2班目は雨に見舞われたため行き先が変更となり、航空博物館へ行ってきました。戦闘機やジャンボジェット機のシミュレーターがあり、特に若い利用者の方は周囲の人からアドバイスをもらいながら楽しく操縦体験を行っていました。

3班目は初日が曇りでしたが2日目は晴天に恵まれました。サケのふるさと千歳水族館では、ドクターフィッシュと触れ合うことや実物大の鮭の模型を抱える体験を行い、みなさんの楽しそうな笑顔がたくさん見ることができました。



▲サケのふるさと館ではいろいろな淡水魚が見られて大満足



▲大迫力の航空博物館で集合写真

新しい仲間の紹介

～よろしくお願ひします!!～



伊藤 岳さん

伊藤さんは東京都出身の21歳。

3月はじめに北海道高等ろう学校専攻科を卒業し、3月27日にわかふじ寮へ入所しました。現在は木工部門で、小物の包装や研磨作業を行っています。

入所して4ヶ月余りですが、これからわかふじ寮の仲間と共に明るく元気に頑張りたいと思います。



▲新しい作業環境で頑張っています

屈足手話の会慰問

～手話の歌で交流しました～

5月14日に屈足手話の会のメンバー13名が来園され、手話の歌を披露して頂きました。

施設が開設した平成12年から毎年お越し頂いており、今回は「花は咲く」「みかんの花咲く丘」「マリモのうた」「ふるさと」の全4曲を披露して頂きました。

「ふるさと」の曲ではメンバー全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら交流しました。

利用者と職員も、メンバーの手話を見様見真似で、一緒に手話をしながら歌い、とても楽しい一時を過ごしました。



▲毎年ありがとうございます



▲「ふるさと」と一緒に手話で交流しました

屈足わかふじ園

One Man Digital Orchestra 佐藤春美オールスターズ演奏会

～1人で多種多様の楽器を演奏～

6月6日に陸上自衛隊第5音楽隊のサクソ奏者佐藤春美さんの演奏会を行いました。

佐藤さんは本業以外にも、休みの日には様々な福祉施設などで慰問演奏をされており、今回で5回目の演奏会を、施設のお隣、小規模多機能施設きらりさんと屈足保育園の年長さんをお呼びして行いました。

1人でサクソやエレキギター、ウィンドシンセサイザーなど多彩に楽器を奏で、大迫力の演奏でした。また利用者の世代に合わせ、演歌からアニメの主題歌を演奏していただき、テンポの速い曲では踊る利用者もいて、会場は大盛り上がりとなりました。

1時間ほどの演奏会でしたが、利用者・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。

また機会があれば、ぜひお越しいただきたいです。



▲楽しかったです。またお越し下さい。



▲アンコールを含め16曲披露していただきました。

より快適な施設を目指します

～改修工事が終わりました～

先日、特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘の改修工事が終わりました。地域密着型特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘開設に伴って玄関と事務室が移ったのを機に利用者の皆さんが日中を過ごすホールを広げ、事務所だった場所にはショートステイを2床増設しています。また、特浴室には脱衣場を整備して、よりプライバシーに配慮した入浴が可能になりました。

工事中は作業のため覆いがされ、ホールや通路が狭くなり、騒音も生じる事でご迷惑やご不便をおか

けていましたが、覆いが外されるとホールの大きく取られた窓からは新得山に連なる緑を眺める事ができるようになりました。ソファとテーブルが置かれ、壁にテレビが掛けられるとそこは早速利用者の憩いの場に。人気の時代劇に見入る姿、仲良く談笑する姿がみられています。また、ショートステイ用の部屋は広々とした個室になっており、ゆったりと利用していただけることと思います。

施設の改修で利用者のみなさんにより快適な生活を送って頂けるようになったことを職員一同嬉しく思うと同時に、ソフト面でも負けないように介護の質の向上を目指したいと考えています。



▲新しいショートステイの個室です。
洗面台は車イスを使用する方にも使いやすくなっています。



▲広々としたホール。男性陣は「水戸黄門」待ちの様子。

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘・地域新得やすらぎ荘

長寿の祝い

～人生の節目を迎えて～

5月31日、養護・特養地域のやすらぎ荘全体で「長寿の祝い」が行われました。今回は4月から7月生まれで腎性の節目を迎えた方が対象で、米寿（88）3人、卒寿（90）と百三賀（103）が1人ずついらっしゃいました。お祝い者にはプレゼントが渡され皆さんとても喜んでいました。

ご家族の方も会に参加され、食事を一緒に楽しみながらゆっくりとした時間を過ごしました。

今後はより一層若々しく、元気に年齢を重ねていきましょう。



▲喜んでプレゼントを受け取っていただきました



▲百三賀を迎えられました。
おめでとうございます！

新得やすらぎ荘

地域おこし協力隊杉原さんが赴任しました

～一緒にがんばっていきましょう～

5月から、新得町に地域おこし協力隊高齢者支援員として採用された杉原香菜さんが介護員として派遣されています。地域おこし協力隊とは都市部の住民を地方で受け入れ地域協力活動をおこなってもらう制度で、2009年に総務省によって制度化されました。新得町では現在様々な分野で14名の方が活躍されているとのことです。

千葉県出身の杉原さんに新得町の印象を聞いてみると「水が美味しいですね。自然豊かなので休みの日は家族でサイクリングを楽しんでいます」とのこと。仕事については「高齢者介護は初めてなので大変ですが、早く皆さんのお役に立てるようになりたいです」と抱負を話してくれました。これから一緒にがんばっていきましょう。



▲笑顔が素敵な杉原さんです。

帯広百年記念館見学

～驚きと懐かしい思い出を楽しみました～

6月7日に日帰り旅行として帯広百年記念館へ行ってきました。外観には年代を感じさせる雰囲気があり、「何があるのかな？」と中へ入って行きました。入口では度肝を抜かれるほどのマンモスの大きな上半身が出迎えてくれます。巨体に驚いて手を伸ばそうとする方や迫力に押されて近づけないでいる方達いましたが、一步目から皆さんの心を惹きつけていました。

進んでいくと十勝に生息する動物の剥製や栽培されてきた豆類の展示が続きます。

他にも大正初期の時計や蓄音機、昭和時代のテレビやラジオ、また石炭から石油へと燃料が変化していったストーブの紹介等もあり、女性利用者の方は展示されている生活用品を眺めながら「私の子供の頃は…」「この道具はね…」と思い出話に花が咲いていました。

各々が昔の記憶を辿りつつ、懐かしい雰囲気を楽しめたようです。



▲ほんとうに大きいなあ



▲あなた、この道具知っている？
私は知っているわよ♪

手話の会交流会

～答えはどこにある～

6月2日の晩に『手話の会交流会』を開催しました。この交流会はわかふじ寮や町の方々と交流できる貴重な機会です。やすらぎ荘にはわかふじ寮から入所された利用者さんが多くいるため、旧友との再会を喜ぶ姿を見ることができます。今回は新得町手話の会初級コース受講生の皆さんも参加してください、50名近くがゲームや手話歌を楽しみました。

ゲームは、新聞記事の中から職員が事前にピックアップしておいた言葉を探し出すもので、見つけたら次の人にバトンタッチをするチーム対抗のリレー方式で行いました。周りの人は探している人を応援したり少しヒントを出してみたりと、楽しい交流の時間になりました。



▲これはどこかで見たような…



▲手話歌『TOMORROW』も歌いました

ひまわり荘

日帰り旅行

～迫力のあるクマに圧倒！ お花畑に大満足！～

毎年、日帰り旅行は利用者の意見を取り入れて企画しており、今年は5月12日サホロリゾートベアマウンテン(利用者10名)、5月24日紫竹ガーデン(利用者12名)へ日帰り旅行に行きました。

ベアマウンテンでは専用バスに乗り運転手の方より「春先は冬眠から明けて間もない為、体重はそれほど重くないはないが1頭約300kgはある」と説明を聞きながら、ガラス越しに見るヒグマに利用者は「迫力があるな」等と圧倒されていました。

紫竹ガーデンでは晴天に恵まれましたが、少し肌寒い中での見学となりました。チューリップやスイセン等の春の花々がじゅうたんのように広がり、散策道から眺めると心が癒されたようで帰りの道中も花の話題で盛り上がっていました。



▲「大きいクマだ!」



▲「お花綺麗でした」

家族との交流会

～昼食前に競技でひと汗～

ひまわり荘では毎年小中学校の運動会の時期に交流会として利用者と家族の皆様と一緒に競技を楽しめる行事を行っています。今年は6月18日、利用者、家族、職員総勢105名が紅白に分かれ、『ミニバレーバスケット』、『聖火リレー』の競技を行いました。

ミニバレーバスケットではカゴにボールが入ると各チームの応援席から「おー」と歓声と拍手が上がり、聖火リレーはアンカーに聖火バトンがわたると両チームとも応援に熱が入っていました。結果は紅組の健闘空しく昨年度に続き白組の2連勝に終わりました。

競技後の昼食会では枝豆ご飯のおにぎりや初夏の野菜の揚げ浸し等の食材を利用者、家族がお互いにすすめ合いながら、競技の話しやお互いの近況等の会話がはずんでいました。競技や食事会の最中は時間が経つ事を忘れてしまう交流会となりました。



▲【ミニバレーバスケット】
「入れ～～～」



▲【聖火リレー】「どっちも負けるな!」

法人スポーツ大会 ～厚生協会職員の交流を目的に～

毎年恒例の厚生協会の職員による法人スポーツ大会が7月2日に行われました。今年の競技は新得発祥のスポーツ「フロアカーリング」。参加した職員は熱戦を繰り広げ、スポーツを通して職員同士の交流を図りました。



▲今年の競技は「フロアカーリング」



▲理事長の始球式で競技スタートです



▲作戦会議中?



▲いくわよ!



▲競技終了後は焼肉で懇親会

高齢者芸能発表会 ～歌と踊りを披露しました～

6月22日、新得町老人クラブ連合会が主催している高齢者芸能発表会に参加しました。ひまわり荘からは鏡春雄さんが歌謡『長崎の女』を披露し、14名の利用者さんが見学されました。やすらぎ荘からは11名の利用者さんが参加し、『ソーラン節』『365歩のマーチ』『きよしのズンドコ節』の3曲で踊りを披露しました。

会場は町公民館のふれあいホールで、多くの町民の皆さんが集っており、踊りを披露した利用者さんたちはいつも指導に来て下さる井上先生の指

揮の下、やや緊張の面持ちでステージに向かっていましたが、日々の練習の成果は充分に発揮出来たと思われます。観客の皆さんから大きな拍手をいただいて利用者さんもほっと一安心されたようでした。



▲『長崎の女』を熱唱



▲リズムに合わせて、楽しく踊りますよお

各施設の行事予定(9月～12月)

わかふじ寮

- 9月 合同運動会
- 10月 文化祭
- 12月 クリスマス会・もちつき・感謝の集い

ひまわり荘

- 9月 敬老会・秋の交通安全教室・秋彼岸法要
ホームゴルフ大会・合同運動会
- 10月 移転記念食事会・一泊旅行・防災訓練
- 11月 保育所交流会
- 12月 クリスマスの集い・もちつき

屈足わかふじ園

- 9月 屈足保育園交流会・避難訓練
- 10月 味覚祭
- 11月 十勝ウィンドシンフォニー演奏会
- 12月 屈足手打ちそばの会訪問
クリスマス会・もちつき

新得やすらぎ荘

- 9月 合同運動会・秋の味覚祭・誕生会
- 10月 帯広買物外出・ゲーム大会・誕生会
- 11月 おやつの日・長寿の祝・誕生会
- 12月 クリスマス会・もちつき

やすらぎ荘

- 9月 合同運動会・新得神社祭・秋の味覚祭
お料理日・施設内ゲーム大会
- 10月 施設旅行
- 11月 町民芸能芸術祭・帯広外出・鍋の会
長寿の祝
- 12月 クリスマス会・もちつき

地域新得やすらぎ荘

- 9月 合同運動会・秋の味覚祭
- 10月 紅葉ドライブ
- 11月 長寿の祝
- 12月 もちつき・クリスマス会

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成28年3月から
平成28年6月まで(敬称略)

【本 部】
新得町 佐々木洋子
佐藤 有宏
横倉 武夫
山野辺彦子
齊藤 久恵
松田 幸子
横倉 良夫
佐々木忠利
中平 武
清水 輝男
中野よし江
新沼 京子
野村 顕一
福田 實
山野辺 篤
武藤 正利
吉田 寿
牧野 武司
島津千鶴子
三牧 節郎
安藤紀代美
甲山 芳夫

【わかふじ寮】
新得町 川崎 勉
札幌市 工藤 末吉
佐々木芳子
深川市 須田 有俊
標茶町 大山 敏宏

本別町 今野アサ子
帯広市 中家 邦子
鹿追町 山下 正光
小樽市 金子 治郎
岩見沢市 佐藤 陽一
芽室町 後藤 幸雄
中富良野町 水本 泰弘

【やすらぎ荘】
新得町 成田 愛子
芽室町 谷保 義明
音更町 武藤 正利
根室市 山本 壽雄
埼玉県 福田 昌代
札幌市 平田 敬一

【屈足わかふじ園】
新得町 玉川 悦子
佐藤 茂光
藤田 寿朗
西川シズエ
橋場カズ子
屈足手話の会
池田町 小川 義成
更別村 七海 信行

【新得やすらぎ荘】
新得町 武藤 博文
石原 くみ

手話コーラスの会
横倉 良夫
清水 輝男
中野よし江
鈴木 義勝
村田 晋
堀川 静香
山田 宏実
甲山 芳夫

【ひまわり荘】
新得町 藤恵会
微助っ人の会
小笹さち子
穴戸 一弘
乾 長子
佃 勇
長谷川利江
鈴木 洋子
松原美喜子
八鍬 敏雄
橋爪 守
横倉 武夫
深川 啓子
前田恵美子
山野辺彦子
青山 容子
山口 敏子
細野 友美

芽室町 甲山ちえみ
幕別町 小椋 睦美
広尾町 原 光治
帯広市 渡辺 孝
小宝 直子
藤井由美子
勾坂 芳隆
阿蘇千恵子
板垣 忠司
吉田 悟
村田 哲夫
赤松 正憲
玉川 法之
菅原 哲二
斎藤妙恵子
鈴木 義勝
山内 隆詞
池田 朋子

【地域新得やすらぎ荘】
新得町 小林 伸兆
小松津津子
池田町 片桐 幸治
帯広市 伊藤 健治

【日帰りサービスセンターやすらぎ荘】
新得町 矢萩 節子

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

ブログ「わかふじ寮ブログ」

<http://blog.canpan.info/wakafuji>

ブログ「やすらぎ荘ブログ」

<http://blog.canpan.info/yasuragi-so/>

ブログ「屈足わかふじ園日記」

<http://blog.canpan.info/wakafujienn/>

ブログ「ひまわり荘Diary」

<http://blog.canpan.info/48-himawari/>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
himawari@bb.rainbow.ne.jp (ひまわり荘)
ssh5209@kha.ku.plala.or.jp (厚生協会新得白生舎)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編 集 後 記

今年の夏は寒暖の差が激しいですが、皆様体調は崩されていないでしょうか。

特集記事でも紹介しましたが、今年度からわかふじ寮にて誕生祝い品贈呈事業を開始しています。この取り組みは少子高齢化が進む中、地域で誕生した子供を地域全体でお祝いをするという、東川町の「君の椅子プロジェクト」や、雨竜町の「ウッドスタート事業」を参考にしています。わかふじ寮もこの取り組みを通して、大切な子供の誕生を町をあげてお祝いしていきたいと思っています。

木のおもちゃから雑貨や家具まで

ひとつひとつ心を込め

製作いたします。



まずは、お見積もりから…。(無料)

お問合せ

担当: 片桐 ・ 高橋

わかふじ寮 TEL. 0156-64-5001